

<H17-5-A : 問題>

画面距離 15cm、画面の大きさ 23cm×23cm の航空カメラを用いて、海面からの高度 3,500m、オーバーラップ 60%で標高 200mの平坦な土地の鉛直空中写真を撮影した。

このときの撮影基線長はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

1. 0.9km
2. 1.0km
3. 2.0km
4. 2.3km
5. 3.0km

<H17-5-B : 問題>

台風が過ぎ去った平たんな地域において、縮尺 1/20,000 で鉛直空中写真を撮影した。写真上には、台風の影響を全く受けていない高塔と、横倒しになった樹木が写っている。高塔は写真上に長さ 2mm で写っており、鉛直点から高塔先端までの写真上の距離は 10cm であった。また、樹木は、鉛直点に生えていたものが根元から折れて完全に横たわり、長さ 1mm で写っていた。高塔の高さと倒れた樹木の元の高さの関係について正しいものはどれか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、航空カメラの画面距離は 15cm とする。

1. 高塔は倒れた樹木の半分の高さである。
2. 高塔は倒れた樹木と同じ高さである。
3. 高塔は倒れた樹木の 2 倍の高さである。
4. 高塔は倒れた樹木の 3 倍の高さである。
5. 高塔は倒れた樹木の 4 倍の高さである。

<H17-5-C : 問題>

図 5 - 1 は、デジタルマッピング(DM)の主要な作業工程を示したものである。

ア ~ エ に入る作業名の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

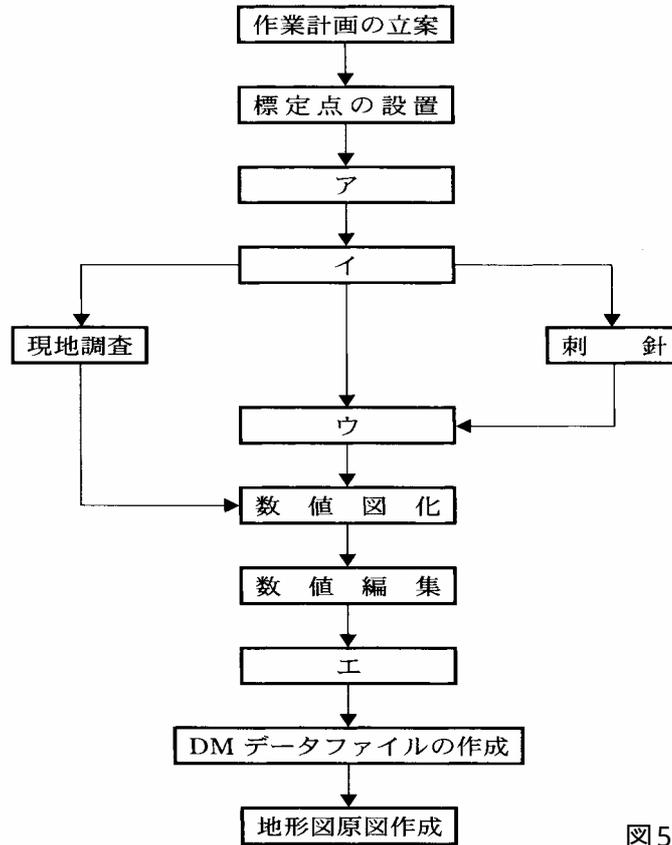


図 5 - 1

	ア	イ	ウ	エ
1.	対空標識設置	撮 影	空中三角測量	現地補測
2.	撮 影	対空標識設置	計測用基図の作成	現地補測
3.	対空標識設置	撮 影	計測用基図の作成	地形図数値化
4.	対空標識設置	撮 影	空中三角測量	地形図数値化
5.	撮 影	対空標識設置	空中三角測量	地形図数値化

<H17-5-D : 問題>

図 5 - 2 は、オーバーラップ 60% で撮影された一組の鉛直空中写真を縦視差のない状態に置いたものである。地上の目標物 A ~ E が左右の写真に図 5 - 2 のように写っていたとき、地上で最も高いものはどれか。次の中から選べ。なお、写真中央の破線の交点は主点を示している。

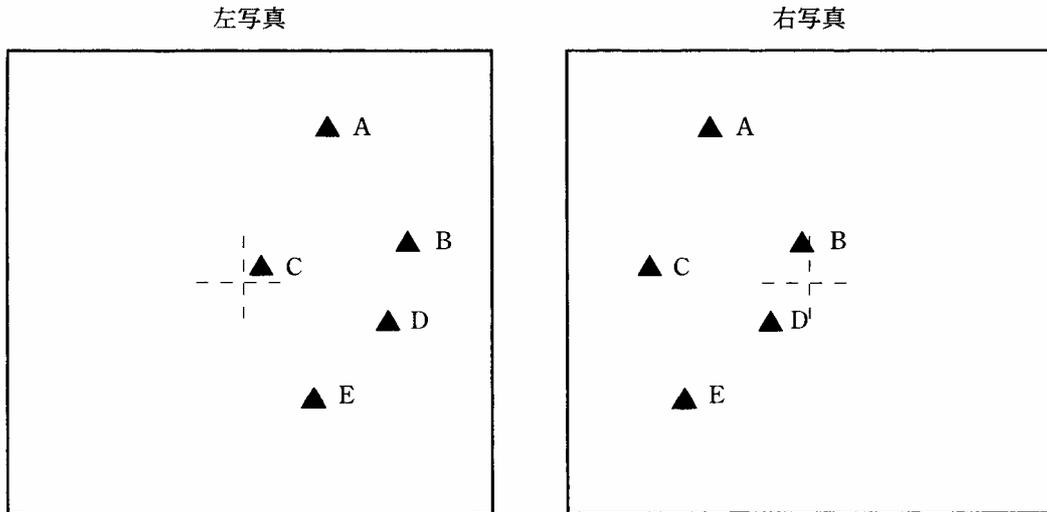


図 5 - 2

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E